

平成 24 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 スパークス・グループ株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 阿 部 修 平
(JASDAQ コード番号:8739)
問い合わせ先 取締役 藤 井 幹 雄
電 話 番 号 0 3 - 6 7 1 1 - 9 1 0 0

「合同会社東北早期復興支援ファンド 2 号」 組成に関するお知らせ

当社グループは、平成 23 年 9 月 28 日付「合同会社東北早期復興支援ファンド 1 号」組成に関するお知らせの通り、東日本大震災の復興事業従事者やボランティアの方々を主たる対象とした中長期滞在型宿泊施設建設・運営(以下、「本プロジェクト」)のためのストラクチャーを組成、資金調達について協力した結果、本プロジェクトの第 1 弾となる宿泊施設(314 室。宮城県名取市)が、本年 10 月 1 日に開業いたしました。

このたび、本プロジェクトの第 2 弾として、宮城県内 2 ヶ所に計 1,000 室規模の宿泊施設を保有するための特別目的会社「合同会社東北早期復興支援ファンド 2 号」(以下、「復興ファンド 2 号」)を組成し、資金調達を完了しましたのでお知らせいたします。

記

1. 本プロジェクトの背景

昨年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により被災された皆様に対しては、当社グループ役職員一同心よりお見舞いを申し上げると共に、被災地の一日でも早い復旧と復興を願ってきた所であります。

この未曾有の災厄に対して私共が投資会社としての貢献を模索している中、被災地の復旧や復興に従事する方々の宿泊施設が大幅に不足している事を知り、適切な価格と品質を持った宿泊施設を早期に被災地に建設するという本プロジェクトの意義に賛同し、主として資金調達について協力することにしたものです。

2. 復興ファンド 2 号の概要

復興ファンド 2 号は、以下に示す 2 つの宿泊施設を建設・運営するための総事業費として、株式会社新生銀行(東京都中央区、代表取締役社長 当麻茂樹)、株式会社七十七銀行(宮城県仙台市、代表取締役頭取 氏家照彦)、株式会社横浜銀行(神奈川県横浜市、代表取締役頭取 寺澤辰鷹)の 3 行から総額 17 億円のノンリコースローンの提供を受ける他、宿泊施設の建設・設備提供等を行う本プロジェクトの戦略的パートナーである大和ハウス工業株式会社(大阪府大阪市、代表取締役社長 大野直竹)、株式会社デンソー(愛知県刈谷市、取締役社長 加藤宣明)、株式会社クレックス(千葉県千葉市、代表取締役社長 小野和一)他からメザニン社債として総額 7 億円、さらに匿名組合出資として総額 12 億円の、合計 36 億円を資金調達いたしました。

当社グループとしては、当社が劣後匿名組合出資を行うほか、当社子会社であるスパークス・アセ

ット・マネジメント株式会社が本プロジェクト全体のスキーム構築や復興ファンド２号の資金調達のための金融商品の私募の取扱い業務を受託するとともに、フィナンシャル・アドバイザーとして、投資家への諸連絡業務等を遂行いたします。

〔宿泊施設の概要〕

バリュー・ザ・ホテル三本木

- 所在地:宮城県大崎市三本木南谷地字千刈田
- 開業予定:平成 25 年 4 月
- 客室数:545 室

バリュー・ザ・ホテル矢本

- 所在地:宮城県東松島市小松字谷地
- 開業予定:平成 25 年 6 月
- 客室数:455 室

※両宿泊施設とも、運営は株式会社バリュー・ザ・ホテル宮城(価値開発株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長 阿部裕二)の連結子会社)が行います。

3. 業績への影響

本件により、スパークス・アセット・マネジメント株式会社は、金融商品の私募の取扱いに係る手数料等を受領する他、復興ファンド２号の契約期間に渡ってフィナンシャル・アドバイザー報酬を受領いたしますが、平成 25 年 3 月期の当社業績(連結・単体)に与える影響は、軽微であると判断しております。

なお、復興ファンド２号の連結子会社化の要否等については、詳細が確定し、適時開示の必要性が生じた場合、速やかに開示いたします。

4. 今後の計画

当社グループは、東日本大震災の被災地の復旧・復興への取組みにおいて、本件のような宿泊施設を含めた各種の社会インフラに対する喫緊かつ広範な需要がある一方、その供給が不足しており、大きな需給ギャップの解消は容易でないものと認識しております。

かかる状況を解消し、民間の力の導入による被災地の復旧と復興の推進に少しでも貢献すべく、投資会社としての当社グループは、各分野で経験・ノウハウを持つ事業会社と連携しながら、引き続き、投資家の賛同を得られるストラクチャーと金融商品の組成に取り組んでまいり所存です。

以上